

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

令和6年4月26日(金)13:30~15:30

千塚小学校 ランチルーム

進行：教頭 記録：教務主任

委員) [] 様 [] 様 [] 様 [] 様
[] 様 [] 様 [] 様 [] 校長 8人出席
参加) 教頭 教務主任

1 校長挨拶・委嘱状交付

○学校の近況報告

児童数 120 名、1 年生 22 名で順調にスタートした。子どもたちは明るくおだやかで、よくあいさつができることが素晴らしい。

転入した教職員も少しずつ慣れ活躍している。先週、授業参観と学年懇談会の間にオンラインで P T A 全体会議を開催した。その中で、地域 C o にとちぎ未来アシストネット活動についてわかりやすく説明していただいた。連休明けに全校遠足を予定しているので、ご協力をお願いしたい。

会議は3回だが、学校関係者として、運動会、卒業式等の諸行事のご案内をしていきたい。可能な範囲でのご参加、ご意見をいただきたい。

2 自己紹介

3 授業参観（5校時）

[] 委員) 全学年ともテレビ（大型モニター）を使っているのか。

→ 今、どこを学習しているのか視覚的にわかりやすいため、ほとんどの学年で行っている。

→ あおぞら、すみれ学級児童は、今回は交流学級で学習していた。内容によって、交流学习にも参加している。

4 会長・副会長選出 ※互選により選出

会長： [] 様 副会長： [] 様

5 会長挨拶

現在タブレットなどの新しい学習が入ってきたことで、先生も子供たちも新たなことに対応しなくてはいけない。学校での学習や生活については、先生方の指導にお任せしたい。地域の行事で、学校とともに一緒に時間を共有することで、ともに子供たちの健やかな成長を担っていきたい。高富士山登山は70年以上続いている。地域の行事が学校行事として一緒に取り組んでいけることは喜ばしい。他にも宮スケートセンターもあり、特別な地域である。[] 校長の勤務された [] 小は、祖父母と一緒に登下校をしている。そのような [] 校長の経験を生かし、ぜひ取り入れていけるようにしていただきたい。

6 協議 [議事進行：会長]

(1) 令和6年度学校経営方針について（校長説明）〈資料1〉

○ 委員の皆様からご意見をいただきながら、よりよい学校運営をしていきたい。

①本校ならではの特色ある教育の充実

教育目標(徳・知・体)、目指す子ども像、重点的取組、教育指標

②本校ならではの特色ある家庭や地域との連携・協働

③安全の保証

④成長の保証

⑤学力の保証

⑥職員の組織力の向上

※ ご承認いただいた。

(2) 今年度の行事について(教務主任説明) <資料2>

宿泊行事、授業参観、学校運営協議会、PTA行事等を中心に説明。

■会長) 運動会について、コロナ禍で半日開催となったが、1日実施に戻すことは考えていないのか。

→ 時期については、熱中症予防等も考慮し、テントなしで実施できること、10月に実施することで表現種目も行い、種目数を増やす方向で計画している。半日実施については、一昨年の保護者アンケート等から前提として考えていた。また、平日開催をしている学校もあるので、アンケートにより意見を聞いていきたい。土曜日実施で多くの方の参観いただける反面、振替休日に対して休めない等の意見もあった。1日開催については、今後も検討課題とさせていただきたい。

(3) 令和6年度学校運営協議会の組織、日程等について(教頭説明) <資料3>

運動会、卒業式のご案内を1か月前ぐらいに送付予定。その他は、毎月の連絡文書やさくら連絡網のメール配信を利用して案内していきたい。

(4) とちぎ未来アシストネット(教頭説明) <資料4>

1学期にまずは1回、どの学年でも活用できるように計画している。地域のボランティアティチャーとともに保護者も学校・児童にかかわる機会を増やしていきたい

■委員) 吹上地区まちづくり協議会で、吹上地区の安全な登下校について協議している。千塚小は雨の日の登校時に車での送迎が多い。小学校での対応や意見を聞きたい。

→ 雨が降ると歩いて登校する児童が少なく、車での送迎が増える。北側駐車場内は7:40-7:50の時間帯が込み合う。時計回りに車を移動する保護者が多いが、間が空くと逆回りをしたり給食棟前に駐車したりする様子も見られ、車の流れにルールがない。そのため、徒歩児童との事故も心配される。

■委員) 雨の日だけ、交通指導員が学校玄関前で交通指導が行えないか。

→ 本来の業務ではないが、状況に応じてお手伝いいただいている。学校としては、雨の日だけでも、駐車場で交通整理をしていただける方がいるとありがたい。

■委員) 送迎時の車の動きのルールを提示したらどうか。また、交通指導員の市の相談窓口はどこなのか。

■委員) 自分の子供は「歩きたい」と思っている。しかし、登校班内でLINE連絡があり、車になってしまうことが多い。

■委員) 雨でも車で来るなどというものではない。事故が起きないためのルール作りが必要。

→ まずは、学校で原案を作り対応できるようにしていきたい。

(5) 小中一貫教育について(教務主任説明) <資料5>

3校の目指す子ども像、各発達段階で身に付けさせたい力~9年間を見通した指導~、本年度の取組(学習・児童生徒指導)、他校でも授業を参観できるよう計画。

それぞれのよさを生かしながら小中が同一歩調で進めていく。

→ 学校評価の際、小中一貫教育の重点目標についての評価アンケートを予定しているので、小中学校のそれぞれの取り組みについてご意見をいただきたい。

(6) 今年度の取り組みについて(教頭説明) <資料6>

○ いじめ防止基本方針

その場では言わず、家に帰ってから保護者に話し、その後対応することになった件やお子さんの話のみを聞いただけの状態で学校に連絡があり当事者間で確認すると、様々な要因があったということもあった。今後とも早期発見・早期対応を心掛けて、対応していきたい。

○ 教職員の働き方改革

いわゆる過労死ラインといわれる時間までの時間外勤務は、減っている。とちぎ未来アシストネットも働き方改革の一つとなっている。分業というわけにはいかない業務内容もある。

■会長) ■市の小学校では、19時頃には電気が消える。熱心な先生が多い学校という印象が強い。疲れが蓄積していないか、重荷になっていないか心配である。

○ さくら連絡網（メール）の活用について

必要と思われる内容や用件をメール配信させていただいているので、ご理解とご確認を。

7 ご意見等

- 委員) 昨年度、PTAの専門部を廃止したが、活動上問題等はなかったか。
→ PTA執行部に、リサイクル品回収担当、アシストネット担当、えのき祭担当等を受け、主な活動を分担し実施してきたので特に問題はなかった。
- 委員) 保護者の負担を減らしていくこと、ボランティアを集めやすくしていくことができたと思う。
- 委員) 何か弊害は、あったか。
■委員) 弊害は、なかったと思う。ボランティアが必要な場面で、できればもっと周知が必要だったと感じている。
- 委員) ボランティアとしての参加は、増えてきていると思う。ここまで取り組んでいる学校は、なかなかない。PTA活動にも前向きに取り組んでいけるとよい。
- 委員) 今年度のPTA活動でも、十分取り組んでいけるようにしたい。
- 委員) 自分が思っていた以上に、子どもたちへのスマートフォンの普及が進んでいる。中学入学前に半数、入学後にはほとんどの生徒が所持しているようだ。取り扱いについて、学校の中で指導の時間がとれるのか。いじめやからかいも起こっているようなので、最初に教えていかなければいけないのではないかと感じている。想像以上に速いスピードで子どもたちの生活に浸透しているようなので心配な部分もある。
→ 情報モラル教育について、栃木市はこれまでスマホを持たせない指導をしてきたが、今は取り扱いについて家庭のルールを決めて使うように啓発する内容になっている。小中一貫教育の中で、情報モラル（教育）について確認していくことや、夏休みの合同研修会で情報モラル教育の内容を扱うことになっている。県の取組に関するサイトもあり、LINEと連携した指導資料もアップされている。その中には、一つの言葉をSNSで送った時の受け取り方について、学習する内容もある。本校では、各学年の発達段階に応じた情報モラルについて授業で取り組む指導計画を立て実践している。
- 委員) 連絡手段として持たせざるを得ない状況である。小学校でも持っている児童もいる。
→ 自宅で児童自身が自由に使えるタブレット類や自分専用のスマホを持っている児童も増えてきている。その状況を踏まえ、学校でも指導をしていきたいと考えている。
- 委員) コロナ禍前には、民生委員・児童委員と学校が会する懇談会があった。民生委員・児童委員協議会があり、現在は学校との連携が全くないため、何をしたらよいのか迷っているという声もある。年に1回、地域懇談会を設けてもらいたい。
→ 実施に向けて検討したい。

8 事務連絡

- 第2回学校運営協議会 令和6年11月13日（水）10:00～13:00
発表集会の参観や給食試食会を予定